

大阪城公園における実証実験の概要

- (1) 実施内容：低速（時速1kmから5km）で移動するモビリティ上で、以下のようなコンテンツを提供し、今後のサービス化の実証を行う。
- ① 日本伝統文化に関するパフォーマンス型のコンテンツ（茶、日本舞踊、三味線）＜実施場所：西の丸庭園＞
 - ② 和楽器を中心とする演奏を複数台のモビリティを同時走行させるコンテンツ。＜実施場所：西の丸庭園＞
 - ③ 茶・和菓子等のポップアップ式移動販売
＜実施場所：西の丸庭園・城南エリア・市民の森＞
- (2) 実証実験時期：2019年3月17日（日）～3月21日（木）
- (3) 実施者：関西電力、損害保険ジャパン日本興亜
- (4) 実施場所：大阪城公園内（西の丸庭園、城南エリア、市民の森等）
- (5) 各社の役割：＜関西電力＞
- ・モビリティ上で提供されるコンテンツの提供
 - ・車両の提供、運行
- ＜損害保険ジャパン日本興亜＞
- ・走行計画の安全性のリスクアセスメント
 - ・実証中の事故に関する保険サービス提供
 - ・実証中の遠隔監視

【実施イメージ】



関係各社の概要

◇関西電力株式会社

設立：1951年（昭和26年）

代表者：岩根 茂樹

所在地：大阪市北区中之島3丁目6番16号

◇損害保険ジャパン日本興亜株式会社

設立：1888年（明治21年）

代表者：西澤 敬二

所在地：東京都新宿区西新宿1-26-1

「iino」の概要

■事業内容：

時速1～5キロで自動走行するモビリティを活用したサービスの提供およびモビリティプラットフォーム運用

■提供価値：

時速1～5キロの特性を活用し、心理的・身体的なリラックス状況の創出、五感機能の拡張など、利便性以外の価値を提供

■ターゲット：

(B to C)

- ①都市を移動する人のうち、目的地が決まっておらず、回遊を目的としている人
- ②モビリティプラットフォームに置かれるサービスを利用する人

(B to B)

- ①サービスが導入されるエリアの運営事業者や店舗
- ②モビリティプラットフォームにコンテンツを乗せたい事業者

■ターゲットエリア：

道路交通法に適用されないすべての場所*

※例えば、商業施設の敷地内や遊園地等のリゾート施設の敷地内を指す

■ビジネスモデル：

コンテンツ利用料、プラットフォーム利用料、広告宣伝料

■今後の計画：

2019年度から様々なサービス実証をおこない、サービスとしての有用性を確認できたものから順次サービスを開始していく。

